

令和3年度「学生による社会スタディ」開催報告

新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインによるテレビ会議形式で開催した結果、グループ討議を含む「全プログラム」と「有識者の情報提供に限定」を合わせて65大学143名が参加した。

1. 開催目的

全国の国・公・私立大学の1・2年生を対象に、情報通信技術を活用した新しい価値創造の重要性に気づき、早い段階から発展的な学びが展開できることを支援する。

2. 開催日時・場所

令和4年2月10日(木)にZoomによるテレビ会議形式でアルカディア市ヶ谷から配信した。

3. 参加者の構成

(1) 全プログラム参加者

参加大学34大学の内訳は、国立4大学、私立30大学、参加者79名の内訳は、1年生50%、2年生50%、男性42%、女性58%、学部別では情報・理工系12%、経済・経営系38%、家政系3%、人文社会系19%、法学系12%、医療系6%であった。

(2) 情報提供のみ参加者

参加大学31大学の内訳は、国立3大学、私立28大学、参加者64名の内訳は、1年生36%、2年生64%、男性44%、女性56%、学部別では情報・理工系13%、経済・経営系12%、メディア系5%、家政系5%、人文社会系19%、法学系7%、医療系3%であった。

4. プログラム概要

12:00	12:00~12:30 受付開始
12:30	開会挨拶
12:35	社会スタディの進め方について
12:50	1. 有識者からの情報提供と意見交換】 (1) 「未来は君たちの手にある「DXと社会イノベーション」 須藤 修 氏 (中央大学国際情報学部教授、東京大学大学院特任教授) デジタル技術が産業・生活・文化に至る社会のあらゆる分野に浸透し、地球規模で大変動が起きようとしている。デジタル技術を手段として活用し、個人の幸せや社会の豊かさを実現する価値創造に結び付けることが期待される。未来は君たちの手にあるので、文理の境界を超え、新しい社会の創造に向けたスキルの習得や社会的実践を通じて「DX社会で輝ける叡智」を培ってほしい。 ※ 質疑応答・意見交換
13:45	(休憩) 13:45~13:55 (10分)
13:55	(2) 「問題解決のイノベーションから意味のイノベーションへ」 小西 一有 氏 (合同会社タッチコア代表、九州工業大学客員教授) グローバルなデジタル変革の中で成長し発展していくには、新たな価値を生み出す様々なイノベーションが求められる。今まで日本が得意としてきた「問題解決のイノベーション」だけでは国際的な競争に勝てない。大事なことは、「モノからコト」へのような人々の生活の豊かさや幸せ感をもたらす「意味のイノベーション」を実現することである。そのためには、失敗をおそれず「経験するという価値」から新しい発想でチャレンジしてほしい。 ※ 質疑応答・意見交換
14:50	(3) 「サイバー空間とフィジカル空間を組み合わせた学び」 大原 茂之 氏 (東海大学名誉教授、株式会社オプテック代表取締役) 日本は新しい変化への対応が苦手な昔の成功体験から抜け出せないでいる。その要因の一つとして、領域ごとの活動にとどまっており、サイバー上でデータを横断的に活用し、物事を予測してリアルの世界で構想を実現していくことが遅れている。これからの学びは教室という限られた場ではなく、他分野の人たちと意見交換する学びの場が求められている。さあ、サイバーの世界で主体的に学びを作っていこう。 ※ 質疑応答・意見交換
15:45	(休憩) 15:45~15:55 (10分)
15:55	2. 気づきの整理と発展のためのグループ討議 ※ グループで「情報通信技術を活を活用して未来社会にどのように向きあうか」について考える。
17:15	3. 気づきの発表 ※ グループごとにまとめた結果を代表者が発表する。
17:30	閉会挨拶

5. 参加者の意見 (アンケート集計)

令和3年度 産学連携事業「社会スタディ」参加者のアンケート集計結果 アンケート回答者48名

令和4年2月10日(木)開催

1. 社会スタディの内容について 【複数回答不可】	【有効回答46名を集計】	①期待通り	②ほぼ期待通り	③どちらともいえない	④期待外れ
	回答数	27	16	2	1
	回答割合	58.7%	34.8%	4.3%	2.2%
	※ 「期待通り」が59%、「ほぼ期待通り」が35%であり、94%の参加者から高い評価をいただいた。				
⑤その他(主な意見)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段触れることの無い社会の情報を分かりやすく説明いただき刺激的で大変役に立った。分かりやすいプログラムで良かった。 ・ 普段の学生生活では絶対に聞けないような貴重なお話を聞くことができ良い学びになったが、意見交換(質疑)の時間増やして欲しい。 ・ 有識者の情報提供が非常に有意義であったが、時間が少ないのもっと増やした方が良いと思う。今後もこう言った機会を設けて欲しい。 ・ デジタル礼賛でなく、ICTに使われるな、常識に囚われない視点の転換、など人間の力を発揮していく内容だったのがとても良い。 ・ 日本の情報化のための問題点やメタバースについての話は興味深く貴重な経験で非常に良かった。 ・ 有識者の情報提供、意見交換、他大学の学生との意見交換は大変貴重で有意義な時間だった。 ・ 普段の大学の授業では聞けない有識者の情報提供は期待以上の内容であった。ここでしか得られない貴重な経験を得ることができた。 					

2. 社会スタディで役立ったプログラム 【複数回答可】	【有効回答46名を集計】	①有識者の情報提供	②有識者との意見交換	③他大学の学生との意見交換	④その他
	回答数	36	9	20	4
	回答割合	52.2%	13.0%	29.0%	5.8%
	※ 本事業の狙い通り、「有識者の情報提供」が52%、「他大学の学生との意見交換」が29%であった。				
⑤その他(主な意見)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会が何を求めているのかを分かりやすく説明いただき、これからの大学生活をどう過ごすか考える場になり大変役に立った。 ・ 同年代の他の参加者との大学の枠を超えた意見交換は自分たちの理解をより高いフェーズに持ち上げることができたと思う。 ・ メタバースなどの最新技術や新しい産業が私たちに何を与え、何ができるのか、どう付き合っていくかを考えていくきっかけに役立った。 ・ 有識者の情報提供では社会の動向を分かりやすく説明いただき大学での学び方や自分の考え、行動を考え直す機会になった。 ・ 意見交換では参加者が明確なビジョンで発言しており多様な考えを知ることができた、大学名などに抱いた自分の心の狭さを痛感した。 ・ イノベーションについて「-を探すのではなく+を伸ばす」ということ重要なことを知ることができ大変有意義であった。 ・ グループワークで「他大学・専攻の異なる学生」と意見交換し、新たな知見やアイデアを出すことができたことが非常に良かった。 					

3. 社会スタディを何で知ったか 【複数回答可】	【有効回答46名を集計】	①大学の紹介 (Web・掲示板等)	②教員の紹介 (授業・LMS等)	④友人、先輩の紹介	④その他
	回答数	24	29	0	2
	回答割合	43.6%	52.7%	0.0%	3.6%
	※ 募集の周知は「教員の紹介(授業・LMS等)」が53%、「大学の紹介(Web等)」が44%であった。				
⑤その他(主な意見)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他大学や大学団体の活動に興味をもってネットを調べている中でプログラムを知り参加したが内容はとても良かった。 ・ 大学の案内(掲示板)で参加したが、非常に役に立った。このようなプログラムを継続した開催して欲しい。 ・ 教員の紹介で参加したが内容はとても良かった。 ・ 授業やメールなどの教員の紹介で参加しました。 					

4. 社会スタディは、学び方や将来を考えるきっかけになったか 【複数回答不可】	【有効回答46名を集計】	①きっかけになった	②なった気がする	③どちらともいえない	⑤きっかけにならない
	回答数	24	18	3	3
	回答割合	50.0%	37.4%	6.3%	6.3%
	※ 参加者の50%が「きっかけになった」、37%が「なった気がする」と回答している。				
⑤その他(主な意見)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識の量と点数でなく社会の変化・動向を捉えて今後必要とされる力などを根拠やデータで示していただき大変役に立った。 ・ 物事の視野を広げられ、考えの方向性が今までと変わりそうだと感じている。非常に役に立った。多面的な考えを身につけた。 ・ メタバースなどの最新技術が想像を超えて進化していることに驚き、批判的思考や常識に囚われないことなどを考えるきっかけになった。 ・ 知識と点数を求められる授業の中で、何が社会で求められるのかを考える基礎知識や多くの示唆が得られ、将来を考えるきっかけになった。 ・ これからの大学生活で自分が何をすべきなのか何を学ぶべきなのかを考えるきっかけになった。 ・ 漠然としていた自分の将来を考えるきっかけになり、将来像を話し合う中でより明確になった。 					

5. 今後取り上げてほしい テーマ、進め方、実施時期	【有効回答46名を集計】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術志向、営業志向、起業家志向など様々な進路向けにプログラムやテーマで考え、学べるようなことを検討して欲しい。 ・ グループ討議では、一面だけのホワイトボードでは不十分、多面的にページを追加し、展開できる「Jamboard」活用が効率的と思う。 ・ 内容、進め方、実施時期とも現在の進め方で良いが、質問時間をあと5分増やして欲しい。今後も継続して欲しい。 ・ ICTに限らずSDGsや環境問題、次世代の教育問題などについて日本の企業の考え方や対策が聞きたい。 ・ メタバースについて知りたいので技術的なことや事例などを取り上げて欲しい。 ・ 有識者の情報提供の時間が短いのが残念、有識者の話をじっくり聞いて一人一人と意見交換できるようにすることを望みます。 ・ 有識者を絞って一つのテーマに時間をかけ、深くテーマを掘り下げるようなことを考えることも検討した欲しい。 				
	⑤その他(主な意見)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有識者の情報提供の時間が短いのが残念、有識者の話をじっくり聞いて一人一人と意見交換できるようにすることを望みます。 ・ 有識者を絞って一つのテーマに時間をかけ、深くテーマを掘り下げるようなことを考えることも検討した欲しい。 				